

のら アから アか ジ畑 焼 何が見えるか

日時: 2009年12月5日(土) 13時~17時30分

場所: 国士館大学梅ヶ丘校舎34号館B-303教室

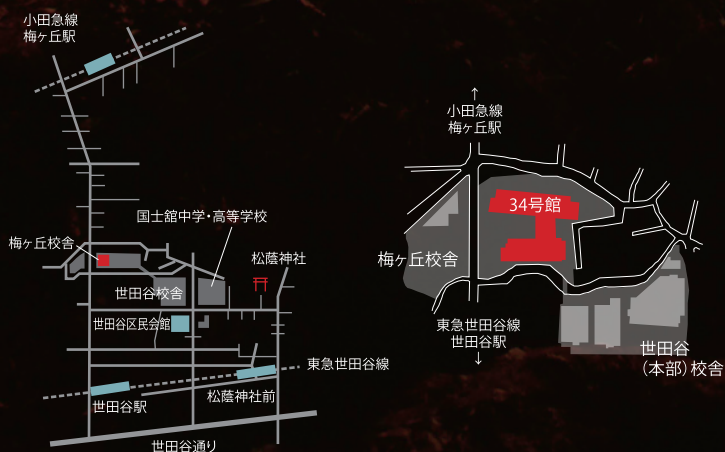
本来、人と大地は共存すべき関係にある。長い歴史のなかで人間は、大地からの恵みを一方的に受け取るだけでなく、自らが食料を生産しようとするシステムを創り上げることに成功した。動物であれば牧畜・遊牧となるが、植物の場合には農耕となる。この農耕というシステムが、歴史的に人類の繁栄をもたらしたことに疑いはないが、果たして今日に至る大地との付き合い方は十全であったのだろうか。

再生という自然のサイクルと、農耕という人工のシステムの組み合わせという観点からすれば、まさに焼畑という文化は、人と大地の共存に関わる課題の原点であると考えられる。

どのように人間は自然と付き合いながら生きていくべきか、本シンポジウムでは、この問題を、最も初源的な農法である焼畑を通して考えてみたい。

※シンポジウムに先立ち、11:30~12:00に姫田忠義監督作品映画「椿山—焼畑に生きる」(29分)を上映致します。

13:00~13:10	趣 旨	説 明	原 田 信 男 (国士館大学21世紀アジア学部)
13:10~14:00	日 本 の 焼 畑 か	ら	姫 田 忠 義 (民族文化映像研究所)
14:00~14:50	ラ オ ス の 焼 畑 か	ら	川 野 和 昭 (鹿児島県黎明館)
15:00~15:30	沖 縄 の 焼 畑	宮 平 盛 晃 (沖縄県宜野湾市教育委員会)	
15:30~16:00	台 湾 の 焼 畑	山 田 仁 史 (東北大学文学部)	
16:00~16:10	総 括 コ メ ン ト	佐 藤 洋 一 郎 (総合地球環境学研究所)	
16:20~17:30	全 体 討 論	コメンテーター: 前川和也 (国士館大学21世紀アジア学部)	



聴 講 無 料

【アクセス】

小田急線梅ヶ丘駅下車、徒歩9分
東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅下車、徒歩6分
渋谷駅南口バス乗場18番「世田谷区民会館行」バスで終点下車、徒歩1分

お問い合わせ: 国士館大学アジア・日本研究センター

TEL: 042-736-1070 FAX: 042-736-2420

Email: ajrc@kokushikan.ac.jp HP: <http://www.a-jrc.jp/>